

こどもの病気対策法①④②

—就学前の三種混合ワクチンとポリオワクチン接種(第2報)—

大分大学客員教授 是 松 聖 悟

4月号にて小宅先生が標題の2つのワクチンに対する津久見市の公費助成について報告してくださいました。私からもお礼とお願いがありません。

今回の新型コロナウイルス感染症にて、予防接種や治療薬のない感染症がいかに怖いか、おわかりになったと思います。私たちが普段、当たり前のように接種してきたワクチンのある感染症にかかった場合の死亡率は、新型コロナウイルス感染症よりもはるかに高いことも知っていたきたいです。そしていまだに治療薬がないものが多いのにワクチンがあるから守られてきたのです。

三種混合ワクチンには百日咳、ジフテリア、破傷風ワクチンが入っています。小学生で百日咳の抗体が低下してかかってしまうことが増えているほか、弟や妹にうつって呼吸困難となることもあります。実際、私も昨年、百日咳で命が危なくなった生後2か月の赤ちゃんの治療にあたりました。乳児突然死の原因の

ひとつに百日咳があるので

破傷風の菌は子どもたちが普段遊んでいる泥や土の中に潜んでおり、発症した場合の死亡率は40%もあるのです。

ジフテリアは喉(のど)の中が腫れて息ができなくなる感染症でワクチンがなかったころは死亡率が10%でした。そしてポリオは「小児まひ」の原因となるもので日本では何年も発症例はありませんが、中国などでもまだ発生が確認されており、百日咳と同じく小学生で抗体が低下することが確認されました。

この2つのワクチンはやがて国の定期接種となると考えられますが、津久見市はその前に公費助成を始めてくださいました。現在、この2つとも公費助成しているのは全国で4市町(うち3市は大分県のみです。子どもを守る市策に深く感謝申し上げます。MR(麻疹風しん混合)ワクチン、おたふくかぜワクチンと、この2つのワクチンの接種も入学準備のひとつだと思っています。

小学校入学前の 3種混合ワクチンと ポリオワクチンの両者を 公費助成している自治体

大分県 津久見市

大分県 他2市

兵庫県 1町

